

海域学としての文学研究

舛谷鋭（立教大学大学院観光学研究科・教授）

海域学とは何かを文学、歴史学から検討するため、英語、中国語で人文系のMaritime Studies、海洋学関連の先行研究を渉猟し、国内外での学会、フィールドワーク時には、国内外の研究者と議論を進めた。（華人作家Oey Tong Pinとプリブミ作家Pramoedya Ananta Toerの作品に見るインドネシア華人のイメージ）

その結果、地図、特に外邦図の文学研究への活用について、前田愛の空間文学論、特に『幻景の街』の復元を参考に、インドネシア作家プラムディアのオランダ植民地期を描いた作品を精読、地名を抽出、整理し、作品世界の中でどのような空間が広がっているかを探るための基礎的な作業を行った。（文学作品による海域学の"Novel Mapped"基礎資料）

東南アジアの中でも、長らく華人研究がタブーとされてきたインドネシアの状況は、動態として興味深く、今後海域学の中心的領域になることが予想される。（海域学としてのインドネシア華人と研究動向）

在外研究のシンガポール滞在時には、現地資料の収集と、研究者へのインタビューを進め、海域学の中の文学として、シンガポール文学を捉え直した。（海域学の中の華人文学）

今後は、基礎資料の更なる充実と分析の継続を予定している。

華人作家Oey Tong Pinとプリブミ作家Pramoedya Ananta Toerの作品に見るインドネシア華人のイメージ

Chinese Image in Maritime

- Wang Gungwu's types of Overseas Chinese Identities in Southeast Asia
 - 1959 *A Short History of the Nanyang Chinese*
 - 1988 *Changing Identities of the Southeast Asian Chinese since World War II*
 - 1991 *China and the Chinese Overseas*
- Chinese Image in Maritime before new nation states for contemporary readers.

Oey and Pramoedya born of the Dutch East Indies and then...

- 1920s
 - Dutch East Indies
- 1940s
 - Japanese Occupation
- 1945-
 - Struggle and Post War for Independence
- 1965-
 - Suharto's New Order

Oey Tong Pin (1923-2014)

- 1923 Jinmen of South China originated Kalimantan of South Borneo borned Chinese writer
- 1940-60s
 - Caricature Cartoons and Essays
- 1960-70s
 - Novels
 - After September 30, his works published in Hong Kong not Indonesia.
- 1980-90s
 - Short Stories
- He said to me, "My number of book are more than Lu Xun."
- Personal complete works
 - 10 vols., 2003

Oey in the last year



• Singapore



Solo, Indonesia



Pramoedya Ananta Toer (1925-2006)

- Born in Blora of Central Java
- One of writer of 45's generation
 - Sympathetic to the Indonesian left wing, especially Chinese in postcolonial Indonesia
 - *History of the Overseas Chinese in Indonesia*, 1960
- After Suharto's New Order
 - 20 years blank
 - 15 years in Buru island jail
 - Birth of the Buru Quartet: 4 novels



Pramoedya and Japan

- 2000 Fukuoka Asian Culture Prize
 - The 1st visit to Japan
- Japanese translation
 - By Prof. Noriaki Oshikawa, Daito Bunka Univ.
 - 2008 Won Yomiuri Culture Award for around 3,000 pages by 20 years translation of Pramoedya's novel

Compare and contrast how the different two ethnic writers

- Community in;
 - (Pramoedya) Pribumi and Nyai
 - (Qey) Chinese
- Characterized figures
 - (P) Pribumi and Colonial Government
 - (O) Indonesian Chinese and Colonial Government
 - (P) Among Pribumi themselves
 - (O) Among Indonesian Chinese themselves
 - (P,O.) The relations between Indonesian Chinese and Pribumi

Characterization of Indonesian Chinese

- (P,O) Indonesian Chinese and Pribumi is largely cordial and 2 communities have worked hard for prosperity of the new nation.
- (P,O) Indonesian Chinese effort to preserve the Chinese culture, and also tried to fit in the locals by speaking their language.
- (P,O) During the anti-colonial period, Indonesian Chinese fought hard with the locals, but the Government divide and rule policy for distance between 2 ethnics.

In contrast of main motif

- (P) Indonesian Nationalism and humanism
Chinese Indonesian as Indonesian nationals
- (O) Recollection of history of Overseas Chinese
attention on details of the lives of the Indonesian Chinese in different social levels

Novel Mapped

- Using map resources, especially *GAIHOZU*, is one of our project's features
- My research tries to use such resource in Literary Studies
- Indexed place names in their novel and study preliminary geographical literary studies

文学作品による海域学の"Novel Mapped"基礎資料

作品1	プラムディヤ選集1	足跡	押川典昭訳
作品2	プラムディヤ選集2	人間の大地 上	押川典昭訳
作品3	プラムディヤ選集3	人間の大地 下	押川典昭訳
作品4	プラムディヤ選集4	すべての民族の子 上	押川典昭訳
作品5	プラムディヤ選集5	すべての民族の子 下	押川典昭訳

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	1	9	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	9	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	9	ジャワ	
プラムディヤ	1	9	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	9	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	11	ボジョネゴロ	Bojonegoro
プラムディヤ	1	11	クンドウン山地	
プラムディヤ	1	13	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	13	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	16	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	17	パレパレ	Parepare
プラムディヤ	1	17	スラウェシ	Sulawesi
プラムディヤ	1	19	コタ・ラジャ	Kutaraja
プラムディヤ	1	19	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	24	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	30	トリウエリ通り	
プラムディヤ	1	39	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	39	ポケット (地帯)	
プラムディヤ	1	39	ポケット (地帯)	
プラムディヤ	1	40	ジョクジャ	Jogjakarta (今はYog-に近い)の略
プラムディヤ	1	40	プルウォク (ケ) ルト	Purwokerto
プラムディヤ	1	43	アンボン	Ambon
プラムディヤ	1	44	メナド	Menado
プラムディヤ	1	45	チリウン川	Kali Ciliwung
プラムディヤ	1	45	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	45	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	47	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	48	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	48	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	48	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	49	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	49	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	49	プルワカルタ	Purwakarta
プラムディヤ	1	49	プレレド	Plered
プラムディヤ	1	49	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	49	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	49	クドウス	Kudus
プラムディヤ	1	49	プルウォク (ケ) ルト	Purwokerto
ジャカルタ	1	50		
プラムディヤ	1	53	ウジュン・クラワン	Ujung..?

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	1	54	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	55	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	55	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	55	バリ	Bali
プラムディヤ	1	55	バリ	Bali
プラムディヤ	1	55	スラウェシ	Sulawesi
プラムディヤ	1	55	ボルネオ	Borneo/Kalimantan (英/尼)
プラムディヤ	1	56	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	56	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	56	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	56	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	57	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	57	デポック	Depok
プラムディヤ	1	57	チバルサ	Cibarusah
プラムディヤ	1	58	マディウン	Cibarusah
プラムディヤ	1	59	タンジュン・プリオク	Tanjung Priok
プラムディヤ	1	62	チリウン川	Kali Ciliwung
プラムディヤ	1	69	メナド	menado
プラムディヤ	1	69	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	71	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	71	コタ・ラジャ	Kutaraja
プラムディヤ	1	74	パレンバン	Palembang
プラムディヤ	1	74	パレンバン	Palembang
プラムディヤ	1	74	パレンバン	Palembang
プラムディヤ	1	74	スマトラ	Sumatera
プラムディヤ	1	74	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	1	74	バリ	Bali
プラムディヤ	1	74	ホランダ	Holandia
プラムディヤ	1	74	パレンバン	Palembang
プラムディヤ	1	75	パレンバン	Palembang
プラムディヤ	1	75	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	1	75	アンボン	Ambon
プラムディヤ	1	75	ティモール	Timor
プラムディヤ	1	75	タラカン	Tarakan
プラムディヤ	1	75	アリューシャン列島	Aleutian Islands
プラムディヤ	1	81	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	82	コタ	kota
プラムディヤ	1	82	カリブサール	Kali Besar
プラムディヤ	1	82	チリウン川	Kali Ciliwung
プラムディヤ	1	82	タンジュン	Tanjung
プラムディヤ	1	84	カリブサール	Kali Basar
プラムディヤ	1	85	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	91	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	110	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	110	パッサル・イカン	Pasar (市場) ikan (魚)
プラムディヤ	1	111	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	111	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	111	クニンガン	Kuningan
プラムディヤ	1	111	クニンガン	Kuningan

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	1	112	パッサル・イカン	Pasar (市場) Ikan (魚)
プラムディヤ	1	114	チレボン	Cirebon
プラムディヤ	1	114	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	115	アンボン	Ambon
プラムディヤ	1	115	アンボン	Ambon
プラムディヤ	1	116	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	119	コタ	Kota
プラムディヤ	1	120	スネン	Senen
プラムディヤ	1	121	コタ	Kota
プラムディヤ	1	121	グロドック	G l o d o k
プラムディヤ	1	121	コタ (街)	Kota
プラムディヤ	1	121	チリウン川	Kali Ciliwung
プラムディヤ	1	123	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	124	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	124	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	124	マカッサル	Makassar
プラムディヤ	1	124	メナド	Menado
プラムディヤ	1	125	アチェ	Aceh
プラムディヤ	1	125	スカブミ	Sukabumi
プラムディヤ	1	125	スندا	Sunda
プラムディヤ	1	128	ロンドン	
プラムディヤ	1	130	タンジュン	Tanjung
プラムディヤ	1	130	ジャティネガラ	Jatinegara
プラムディヤ	1	130	パッサル・イカン	Pasar (市場) Ikan (魚)
プラムディヤ	1	131	コタ・ラジャ	Kota
プラムディヤ	1	132	リングガルジャティ	Linggarjati
プラムディヤ	1	132	スネン	Senen
プラムディヤ	1	132	コタ	Kota
プラムディヤ	1	138	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	144	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	145	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	145	クマヨラン	Kemayoran
プラムディヤ	1	145	タナ・アバン	Tanah Abang
プラムディヤ	1	145	タナ・ニョニヤ	Tanah Nyonya
プラムディヤ	1	145	タナ・ティンギ	Tanah Tinggi
プラムディヤ	1	145	ジャティネガラ	Jatinegara
プラムディヤ	1	145	コタ	Kota
プラムディヤ	1	145	プリオク	Priok
プラムディヤ	1	145	チキニ	Cikini
プラムディヤ	1	145	メンテン	Menteng
プラムディヤ	1	146	チラチャップ	Ciracap
プラムディヤ	1	146	ブランバンガン	Blambangan
プラムディヤ	1	149	クブン・ラジャ	Kebun raja?
プラムディヤ	1	155	チアン・ジュール	Cianjur
プラムディヤ	1	156	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	162	コタ	Kota
プラムディヤ	1	162	コタ	Kota
プラムディヤ	1	162	コタ	Kota
プラムディヤ	1	162	コタ	Kota

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	1	169	コタ	Kota
プラムディヤ	1	169	チリウン	Ciliwung
プラムディヤ	1	170	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	170	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	172	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	172	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	172	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	173	山東省	山东省
プラムディヤ	1	182	ボゴール	Bogor
プラムディヤ	1	188	ジャカルタ	
プラムディヤ	1	189	メナド	Menado
プラムディヤ	1	190	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	195	ボルネオ	Borneo/Kalimantan (英/尼)
プラムディヤ	1	208	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	208	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	208	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	209	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	209	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	209	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	209	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	209	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	1	212	マディウン	Madiun
プラムディヤ	1	216	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	216	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	216	ウジュン・クラワン	Ujung..?
プラムディヤ	1	220	スマトラ	Sumatera
プラムディヤ	1	225	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	225	ジャカルタ	Jakarta
プラムディヤ	1	231	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	231	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	236	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	236	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	236	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	237	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	251	コタ	Kota
プラムディヤ	1	252	ジャティネガラ	Jatinegara
プラムディヤ	1	254	ヌサカンバンガン	Nusakambangan
プラムディヤ	1	254	バニユワンギ	Banyuwangi
プラムディヤ	1	254	パプア	Papua
プラムディヤ	1	257	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	257	ヌサカンバンガン	Nusakambangan
プラムディヤ	1	257	ブランバンガン	Blambangan
プラムディヤ	1	257	チラチャップ	Ciracap
プラムディヤ	1	258	バンテン通り	Banten?
プラムディヤ	1	259	ジャカルタ、ガントウン ガ刑務所	
プラムディヤ	1	260	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	279	カンポン<※>	kampung(スラム街に近い意味で 使われる)
プラムディヤ	1	283	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)
プラムディヤ	1	284	ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	1	285	ガン・トゥンガ	
プラムディヤ	1	288	ジャティネガラ操車場	Jatinegara
プラムディヤ	1	289	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	289	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	292	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	294	ガン・トゥンガ通り	
プラムディヤ	1	313	ボゴール	Bogor
プラムディヤ	1	313	ボゴール	Bogor
プラムディヤ	2	9	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	2	9	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	11	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	13	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	13	ハーベーエス通り	
プラムディヤ	2	14	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	15	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	17	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	18	ブラウラン	
プラムディヤ	2	18	クランガン	
プラムディヤ	2	18	クランガン通り	
プラムディヤ	2	19	タンジュン・ペラク	
プラムディヤ	2	19	マドウラ	Madura
プラムディヤ	2	20	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	21	ジャワ人	
プラムディヤ	2	21	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	22	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	22	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	23	マドウラ人	
プラムディヤ	2	25	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	28	マドウラ	Madura
プラムディヤ	2	31	バリ	Bali
プラムディヤ	2	33	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	33	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	57	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	80	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	80	クランガン	
プラムディヤ	2	81	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	81	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	2	83	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	83	シンパン	Simpang
プラムディヤ	2	83	ハーベーエス通り	
プラムディヤ	2	84	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	86	アチェ	Aceh
プラムディヤ	2	89	アチェ	Aceh
プラムディヤ	2	92	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	93	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	96	コブレン広場	
プラムディヤ	2	98	アチェ	Aceh
プラムディヤ	2	99	ジャワ人	
プラムディヤ	2	99	アチェ人	

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディア	2	99	プルウォレジョ	Purworejo
プラムディア	2	100	タケンゴン地方	
プラムディア	2	100	アチェ人	
プラムディア	2	104	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	107	ジャワ人	
プラムディア	2	119	ブラン・クジェレン	
プラムディア	2	120	アチェ	Aceh
プラムディア	2	122	アチェ	Aceh
プラムディア	2	123	バリ	Bali
プラムディア	2	123	ブタウイ	Batavi
プラムディア	2	135	シドアルジョ	
プラムディア	2	136	トゥランガン	
プラムディア	2	138	シドアルジョ	
プラムディア	2	139	トゥランガン	
プラムディア	2	139	シドアルジョ	
プラムディア	2	142	ジャワ人	
プラムディア	2	144	ジャワ人	
プラムディア	2	149	トゥランガン	
プラムディア	2	152	トゥランガン	
プラムディア	2	152	シドアルジョ	
プラムディア	2	152	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	153	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	153	トゥランガン	
プラムディア	2	153	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	153	ジャワ	Jawa
プラムディア	2	154	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	158	トゥランガン	
プラムディア	2	164	トゥランガン	
プラムディア	2	164	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	165	タンジュン・ペラク港	
プラムディア	2	170	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	177	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	182	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	186	タンジュン・ペラク	
プラムディア	2	198	クンバン・ジュブン	
プラムディア	2	199	ジャワ人	
プラムディア	2	200	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	206	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	207	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	210	カブパテン	
プラムディア	2	211	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	211	ジャワ	Jawa
プラムディア	2	217	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	2	217	ジャワ	Jawa
プラムディア	2	218	ジャワ	Jawa
プラムディア	2	219	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	226	ジャワ人	Jawa
プラムディア	2	227	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	228	ジャワ人	Jawa

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	2	229	ジャワ人	Jawa
プラムディヤ	2	231	カブパテン	
プラムディヤ	2	231	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	232	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	233	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	233	スマトラ	
プラムディヤ	2	233	ボルネオ	
プラムディヤ	2	233	東部ジャワ風	
プラムディヤ	2	233	マドゥラ風	
プラムディヤ	2	234	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	235	ジャワ人	
プラムディヤ	2	235	東部ジャワ風	
プラムディヤ	2	236	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	236	ジャワ風	
プラムディヤ	2	240	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	241	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	242	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	254	アチェ	Aceh
プラムディヤ	2	258	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	258	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	260	ジャワ人	
プラムディヤ	2	260	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	262	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	264	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	266	マドゥラ人	
プラムディヤ	2	266	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	267	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	267	クランガン	K
プラムディヤ	2	268	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	269	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	270	クランガン	
プラムディヤ	2	270	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	271	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	2	271	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	275	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	278	マドゥラ	Madura
プラムディヤ	2	280	マドゥラ	Madura
プラムディヤ	2	284	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	285	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	285	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	293	クンバン・ジュブン	
プラムディヤ	2	293	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	2	296	シンガポール	
プラムディヤ	2	297	スンダ	
プラムディヤ	2	297	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	2	300	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	2	300	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	2	302	メダン	
プラムディヤ	2	302	ブタウィ	Batavi

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディア	2	302	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	2	313	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	4	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	7	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	18	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	21	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	31	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	31	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	32	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	34	シヤム	
プラムディア	3	34	東部ジャワ	
プラムディア	3	34	中部ジャワ	
プラムディア	3	38	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	40	スラマン	
プラムディア	3	40	ブタウィ	Batavi
プラムディア	3	54	シンパン	
プラムディア	3	54	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	61	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	67	プランバナ	Prambanan
プラムディア	3	67	ボロブドゥール	
プラムディア	3	67	ジャワ	Jawa
プラムディア	3	70	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	73	アチェ人	
プラムディア	3	73	アチェ	Aceh
プラムディア	3	78	バンテン	
プラムディア	3	80	クランガン	
プラムディア	3	83	アチェ	Aceh
プラムディア	3	87	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	97	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	102	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	103	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	146	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	146	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	154	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	163	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	163	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	164	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	164	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	165	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	166	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	168	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	172	マドゥラ	Madura
プラムディア	3	174	マドゥラ語	
プラムディア	3	176	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	3	176	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	177	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	181	ブタウィ	Batavi
プラムディア	3	184	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	3	185	スラバヤ	Surabaya

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	3	188	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	188	トゥランガン	
プラムディヤ	3	205	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	206	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	215	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	216	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	217	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	220	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	221	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	225	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	227	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	229	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	230	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	232	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	235	ジャワ人	
プラムディヤ	3	237	ジャワ人	
プラムディヤ	3	237	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	240	マタラム	
プラムディヤ	3	240	ジャワ人	
プラムディヤ	3	241	ジャワ人	
プラムディヤ	3	241	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	242	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	243	ジャワ人	
プラムディヤ	3	244	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	250	東部ジャワ	
プラムディヤ	3	252	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	254	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	3	260	シンガポール	
プラムディヤ	3	263	マラン市郊外	
プラムディヤ	3	265	マドゥラ	Madura
プラムディヤ	3	266	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	267	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	268	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	274	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	280	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	291	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	291	グヌンサリ	
プラムディヤ	3	291	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	292	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	295	スマラン	
プラムディヤ	3	295	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	297	スマラン	
プラムディヤ	3	297	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	299	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	300	マドゥラ人	
プラムディヤ	3	300	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	301	マドゥラ人	
プラムディヤ	3	301	マラン	
プラムディヤ	3	305	ウォノクロモ	Wonokromo

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	3	305	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	3	313	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	3	313	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	18	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	19	プネレ	
プラムディヤ	4	23	ヘーレンフラフト	
プラムディヤ	4	24	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	35	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	37	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	4	37	ジャワ海	
プラムディヤ	4	38	タンジュン・ペラク	
プラムディヤ	4	38	ペラク	
プラムディヤ	4	39	マドゥラ人	
プラムディヤ	4	42	メダン	Medan
プラムディヤ	4	42	シンガポール	
プラムディヤ	4	43	シンガポール	
プラムディヤ	4	45	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	46	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	46	東ジャワ	
プラムディヤ	4	54	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	63	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	65	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	77	マタラム	
プラムディヤ	4	77	バタヴィア	
プラムディヤ	4	80	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	80	スマトラ	Sumatera
プラムディヤ	4	80	カルタスラ王宮	
プラムディヤ	4	98	ジェパラ	Jepara
プラムディヤ	4	99	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	103	シンガポール	
プラムディヤ	4	103	香港	
プラムディヤ	4	107	天津	
プラムディヤ	4	107	上海	
プラムディヤ	4	122	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	123	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	124	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	124	ジャワ人	
プラムディヤ	4	130	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	130	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	131	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	131	ブタウィ	Batavi
プラムディヤ	4	141	マドゥラ	Madura
プラムディヤ	4	142	シンガポール	
プラムディヤ	4	142	バガン・シアピアピ	Bagan Siapi-api
プラムディヤ	4	142	ポンティアナック	Pontianak
プラムディヤ	4	142	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	142	ブタウイ	Batavi
プラムディヤ	4	142	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	143	フィジー	

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	4	143	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	143	ジャワ人	
プラムディヤ	4	151	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	151	バガン・シアピアピ	Bagan Siapi-api
プラムディヤ	4	151	ポンティアナック	Pontianak
プラムディヤ	4	153	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	153	ジャワ人	
プラムディヤ	4	154	シンガポール	
プラムディヤ	4	154	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	155	シャム	
プラムディヤ	4	159	ペラク港	
プラムディヤ	4	159	マニラ	
プラムディヤ	4	159	香港	
プラムディヤ	4	160	香港	
プラムディヤ	4	162	ブタウイ	Batavi
プラムディヤ	4	166	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	169	ジャワ人	
プラムディヤ	4	169	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	170	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	171	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	171	ジェパラ	Jepera
プラムディヤ	4	174	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	175	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	176	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	177	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	178	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	179	ブタウイ	Batavi
プラムディヤ	4	182	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	182	ブタウイ	Batavi
プラムディヤ	4	185	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	185	アンボン	Ambon
プラムディヤ	4	185	東スマトラ	
プラムディヤ	4	185	メダン	Medan
プラムディヤ	4	193	スンダ語	
プラムディヤ	4	193	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	194	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	195	シドアルジョ	
プラムディヤ	4	195	ジャワ人	
プラムディヤ	4	196	シドアルジョ	
プラムディヤ	4	201	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	202	シドアルジョ	
プラムディヤ	4	207	シドアルジョ地域	
プラムディヤ	4	208	トゥランガン地区	
プラムディヤ	4	208	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	4	209	トゥランガン	
プラムディヤ	4	211	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	211	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	4	212	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	4	212	シドアルジョ	

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディア	4	213	シドアルジョ駅	
プラムディア	4	213	トゥランガン	
プラムディア	4	214	トゥランガン	
プラムディア	4	216	チャンディ	Candi
プラムディア	4	217	シドアルジョ	
プラムディア	4	219	ジャワ	Jawa
プラムディア	4	219	トゥランガン	
プラムディア	4	212	トゥランガン	
プラムディア	4	224	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	224	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	4	226	トゥランガン	
プラムディア	4	226	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	227	シドアルジョ	
プラムディア	4	227	トゥランガン	
プラムディア	4	227	シドアルジョ駅	
プラムディア	4	228	トゥランガン	
プラムディア	4	229	トゥランガン	
プラムディア	4	229	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	233	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	4	234	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	4	236	トゥランガン	
プラムディア	4	256	トゥランガン	
プラムディア	4	260	トゥランガン	
プラムディア	4	270	トゥランガン	
プラムディア	4	270	シドアルジョ	
プラムディア	4	272	トゥランガン	
プラムディア	4	272	ジャワ	Jawa
プラムディア	4	273	バンドウン	
プラムディア	4	273	トゥランガン	
プラムディア	4	274	トゥランガン	
プラムディア	4	275	トゥランガン	
プラムディア	4	278	トゥランガン	
プラムディア	4	281	ジャワ	
プラムディア	4	282	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	282	ジャワ	Jawa
プラムディア	4	282	マドウラ	Madura
プラムディア	4	283	ジャワ	Jawa
プラムディア	4	287	ブタウィ	Batavi
プラムディア	4	287	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	291	トゥランガン	
プラムディア	4	294	ジャワ	
プラムディア	4	301	トゥランガン	
プラムディア	4	304	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	4	307	トゥランガン	
プラムディア	4	307	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	4	309	トゥランガン	
プラムディア	4	311	トゥランガン	
プラムディア	4	324	トゥランガン	
プラムディア	4	331	トゥランガン	

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディア	5	3	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	11	トゥランガン	
プラムディア	5	11	シドアルジョ	
プラムディア	5	11	ジャワ	Jawa
プラムディア	5	11	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	19	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	20	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	21	ジュンバタン・メラ	
プラムディア	5	22	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	22	カリマス河	
プラムディア	5	22	支那	
プラムディア	5	23	ジャワ	Jawa
プラムディア	5	24	ジャワ人	
プラムディア	5	26	シドアルジョ	
プラムディア	5	27	ボンドウオソ	Bondowoso
プラムディア	5	27	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	27	ブタウィ	Batavi
プラムディア	5	27	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	28	シドアルジョ	
プラムディア	5	30	シドアルジョ	
プラムディア	5	33	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	34	シャム	
プラムディア	5	35	トゥランガン	
プラムディア	5	42	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	42	香港	
プラムディア	5	42	九竜	
プラムディア	5	42	マカオ	
プラムディア	5	42	広東	
プラムディア	5	42	上海	
プラムディア	5	44	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	44	ブタウィ	Batavi
プラムディア	5	45	ブタウィ	Batavi
プラムディア	5	45	マドゥラ語	
プラムディア	5	46	支那人	
プラムディア	5	46	ジャワ人	
プラムディア	5	48	マドゥラ語	
プラムディア	5	48	シドアルジョ	
プラムディア	5	50	シドアルジョ	
プラムディア	5	52	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	54	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	54	ジャワ人	
プラムディア	5	65	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	69	サイパン	
プラムディア	5	72	アチェ	Ache
プラムディア	5	73	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディア	5	73	スラバヤ	Surabaya
プラムディア	5	74	ブタウィ	Batavi
プラムディア	5	76	シドアルジョ	
プラムディア	5	78	ウォノクロモ	Wonokromo

作者	作品	ページ	地名	原語
プラムディヤ	5	78	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	78	トゥランガン	
プラムディヤ	5	79	タンジュンペラク港	
プラムディヤ	5	84	ブランタス河	
プラムディヤ	5	84	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	85	ブランタス河	
プラムディヤ	5	91	ブランタス河	
プラムディヤ	5	91	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	91	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	93	トゥランガン	
プラムディヤ	5	94	ジャワ人	
プラムディヤ	5	96	ジャワ人	
プラムディヤ	5	98	タンジュンペラク港	
プラムディヤ	5	99	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	102	ブタウイ	Batavi
プラムディヤ	5	106	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	5	108	スマトラ	
プラムディヤ	5	108	ジャワ人	
プラムディヤ	5	113	トゥランガン	
プラムディヤ	5	115	ジョクジャ コタグデ	
プラムディヤ	5	119	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	119	クランガン	
プラムディヤ	5	121	タンジュンペラク	
プラムディヤ	5	121	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	121	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	125	マドゥラ	
プラムディヤ	5	125	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	126	スマラン	
プラムディヤ	5	130	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	5	131	ジャワ	Jawa
プラムディヤ	5	131	アチェ	Ache
プラムディヤ	5	133	タンジュンプリオク	
プラムディヤ	5	133	ポートアーサー	
プラムディヤ	5	133	プリオク	
プラムディヤ	5	134	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	135	カリマンタン	
プラムディヤ	5	135	トラジャ族	
プラムディヤ	5	135	パタック族	
プラムディヤ	5	136	ブギス	
プラムディヤ	5	136	マドゥラ	
プラムディヤ	5	136	支那人	
プラムディヤ	5	138	スラバヤ	Surabaya
プラムディヤ	5	138	ウォノクロモ	Wonokromo
プラムディヤ	5	139	アチェ	Ache
プラムディヤ	5	139	アンダス	
プラムディヤ	5	139	アチェ	Ache
プラムディヤ	5	141	ブタウイ	Batavi

主要地名索引

地名	つづり	備考
アチェ	Aceh	スマトラ島北部の州
アニェル	Anyer	バンテン州所属
アリューシャン列島	Aleutian Islands	北太平洋
アンボン	Ambon	アンボン島
イスタンブル	Istanbul	
ヴィラ・ピンタンマス?	ヴィラ・ピンタンマス?	ヴィラ・ピンタンマス?
ウエレリ		
ウジュン・クラワン	Ujung..?	
エンクハイゼン※	Enkhuizen	「ホテル・エンクハイゼン」として登場、
カシルタ	Kasiruta	北マルク州、パカン諸島に位置する島
カリブサル	Kali Besar	17c~19cのバタヴィア市の中心
ガルト	Garut	西ジャワ
ガン・トゥンガ		ダエラムルデカの広がる場所
北スマトラ	Sumatera Utara	スマトラ島の北部の州
北セレベス	Celebes?	現在のスラウェシ島?
クウィタン	Kwitang(富豪地主の華人の名前 Kwik Tang Kiam が省略化)	Senen(スネン)州にある村
クダス	Kudus	ジャワ島中部
クニンガン	Kuningan	西ジャワ
クブン・ラジャ	Kebun raja?	
クマヨラン	Kemayoran	ジャカルタ内
クラマツ通り	Jalan keramat	ブタウイに位置
グレスイク	Gresik(グレスィック・<Grise>グリッセとも)	ジャワ島東部
グロドック	Glodok	ジャカルタ北部
クロボガン	Grobogan	中部ジャワ
クドウン山地		
コタ	kota	今のジャカルタ・コタ地区?
コッタ		
コタ・ラジャ	Kutaraja	現バンダ・アチェ
コトガダン	Kotogadan?	ミナンカバウ人社会に関連する場所?
サバン島		
山東省	山东省	中国
シアック		リアウ州
ジャカルタ	Jakarta	ジャワ島北西岸
ジャカルタ、ガントウンガ刑務所	ジャカルタ、ガントウンガ刑務所	ジャカルタ、ガントウンガ刑務所
ジャティネガラ	Jatinegara	ジャカルタ内
シャム		タイ王国の旧名
ジャワ	jawa	
ジョクジャ	Jogjakarta(今はYogに近い)の略	ジャワ島中部
シンガポール		
スカブミ	Sukabumi	ジャワ島西部
スネン	Senen	ジャカルタ内
スヘルトヘンボッシュ	s'Hertogenbosch(スヘルトヘンボスとも)	北ハンブラント州州都
スマトラ	Sumatera	大スンダ列島に属する島
スマラン	Semarang	中部ジャワ州の州都
スラウェシ	Sulawesi	インドネシア中部の島
スラバヤ	Surabaya	ジャワ島北岸のマス川河口
スンダ	Sunda	ジャワ島西
セイロン	Ceylon	
セラシ	Serang	バンテン州州都
ソロ	Solo:スラカルタ(Surakarta)の通り名	ジャワ島中部
ダエラ・ムルデカ	daerah(地方)merdeka(独立)	ジャカルタ地区?
タナ・アバン	Tanah Abang	ジャカルタ内
タナバン	Tabanan	バリ州南西部の県

地名	つづり	備考
タナ・ティンギ	Tanah Tinggi	ジャカルタ内
タナ・ニョニヤ	Tanah Nyonya	ジャカルタ内？
タナバン地区	Tanaban	バリ州南西部の県
タナブン・プキ？		パンゲナマンがリエンチェを連れて行った場所
タラカン	Tarakan	北カリマンタン州
タンゲラン	Tangerang	バンテン州の都市
タンジュン	Tanjung	
タンジュン・プリオク	Tanjung Priok	ジャカルタ市北東
タンブン	Tambun	
チアスム	？	？
チアミス	Ciamis	ジャワ島西部
チアンジュル	Cianjur	西ジャワ
チアン・ジュール	Cianjur	ジャワ島西部のグデ山付近
チキニ	Cikini	ジャカルタ内
チトゥルップ		Bogor(ボゴール)県所属
チバルサ	Cibarusah	西ジャワ
チビノン	Chibinon	Bogor(ボゴール)県所属
チャルバン	Caruban	
中央スマトラ		
チュルク	Celuk	リ島中部ウブド郡にある金銀細工の村
チュンカレン		バンテン州
チラチャップ	Ciracap	中部ジャワ島の最南西部
チリウン	Ciliwung	ジャカルタ特別州
チリウン川	Kali Ciliwung	ジャカルタ特別州
チルンシ		Bogor(ボゴール)県所属
チルボン	Cirebon	ジャワ島北海岸
チレボン	Cirebon	ジャワ島の北海岸
ティモール	Timor	小スンダ列島の東端
デボック	Depok	ジャワ島西部
テルナテ	Ternate	モルッカ諸島にある島
トリウエリ通り		
西ジャワ	Jawa Barat	
西バプア		
西ボルネオ	West Borneo/Kalimantan Barat(英/尼)	
ヌサカンバンガン	Nusakambangan	中部ジャワ
ハーグ		
バイデンブルフ	Buitenzorg オランダ語で「無憂」	現在のBogor(ボゴール)
バタヴィア	Batavia	首都ジャカルタのオランダ植民地時代の名称
パッサル・イカン	Pasar(市場) Ikan(魚)	ジャカルタ内
バニユワンギ	Banyuwangi	ジャワ島最東端
パプア	Papua	ニューギニア島
パムンブック	Pameungpeuk	西ジャワ
バララジャ	Balaraja	バンテン州
バリ	Bali	ジャワ島のすぐ東側
パレパレ	Parepare	南スラウェシ州
パレンバン	Palembang	スマトラ島の南側
バンカ	Bangka(Banka)	カリマタ海峡南西部の島
パンゲン		
バンコク		
バンジャルヌガラ	Banjarnegara	中部ジャワ
バンテン通り	Banten？	ジャワ島西部？
バンドゥン	Bandung	ジャワ島西部、「バンドン」とも
東バプア		
フィリピン		
ブタウィ	Betawi	バタヴィア(現ジャカルタ)のこと
プマヌカン	pamanukan	西ジャワ
フラールディングン	Vlaardingen	ホーランド州
プランバナン	Prambanan	Yogyakarta
ブランバンガン	Blambangan	

地名	つづり	備考
プリアンガン	Priangan	西ジャワのバンドンを中心とする高原地帯の通称
プリオク	Priok	ジャカルタ内
ブリトゥン	Belitung	カリマタ海峡の島
プルウオケルト	Purwokerto	ジャワ島中部
マルク諸島	Kepulauan Maluku	
プルワカルタ	Purwakarta	
プレレド	Plered	西ジャワ
ベンテン通り	Jalang Banten?	
ポケット(地帯)		
ボゴール	Bogor	西ジャワ州
ボジョネゴロ	Bojonegoro	東ジャワ
ホランダ	Holandia	ププア州Jayapuraの旧称
ボルネオ	Borneo/Kalimantan(英/尼)	尼・馬・ブのある島
香港	Hong Kong	
マカッサル	Makassar	スラウェシ島の南部
マディウン	Madiun	ジャワ島東ジャワ州
マノクワリ	Manokwari	西イリアンジャヤ州
マライ		
マルク	Maluku	アンボンを州都に持つ州
マレー半島		
南シナ海	South China Sea/Laut Cina Selatan(英/尼)	
ミナンカバウ		
メナド	Menado	スラウェシ島のミナハサ半島最北端
メンテン	Menteng	ジャカルタ内
リヨン	Lyon	フランス南東部
リングガルジャティ	Linggarjati	西ジャワ
ルマアバン		ジャワ島所属
ルルド	Lourdes	オート=ピレネー県
ローマ	Roma/Rome(伊/英仏)	ラツィオ州の州都
ロンドン	London	イギリス

海域学としてのインドネシア華人と研究動向

中国僑務弁公室による数字、世界5000万華人のうち、7割は東南アジアに集中しているが、彼らの一部は海のシルクロードや商業の時代の担い手の末裔である。中でもインドネシアは700万人以上の華人が住むと言われ、人口比は低いものの、絶対数では域内のマレーシアを上回る。シンガポールを含むマレー半島の寺廟は19世紀以降のものがほとんどで、18世紀以前の旧跡にお目にかかることはほとんどないが、インドネシア各地で今でも17世紀以前の寺廟を容易に見つけることができる。

しかし、1965年の9・30事件以降、スハルト開発独裁体制下でインドネシア共産党（PKI）排除とともに華人排斥が徹底し、90年代半ばの個人的な実見では、コタ地区グロドックのチャイナタウンであっても、ラード抜きのパサパサしたドリアン月餅に食紅で書かれた漢字と、提灯が唯一の目印の客家料理屋くらいしか表立った中華文化は見当たらなかった。70年代に留学した倉沢愛子氏は日本からの書物がなかなか通関されず「治安当局にとって、漢字混じりの馴染みのない外国語（日本語）は、共産中国の言葉に似ているがゆえに大いに怪しいものだった」経験を記しているが（『9・30 世界を震撼させた日』2014）、私も全く同じ理由で空港税関で日本語書籍を取り上げられそうになった。シンガポールか香港でしか作品が手に入らなかった黄東平（1923-2014）ら、華人作家とのインタビューは、自家用車の後部座席でジャカルタ市内を走りながら行われ、案内されたチャイナタウンの華語書店は漢方薬店の奥の鏡扉の裏だった。インドネシア華人研究は、1998年までの32年間、国内では全くタブーだった。

反華人暴動の側面もあったスハルト退陣の混乱を経た民主化後、ワヒド大統領の改革で中華文化・言語が復活し、今世紀以降、春節（旧正月）も国民の休日となり、爆竹鳴り響く首都ジャカルタの知事は客家のアホック（バスキ・チャハヤ・プルナマ氏）だ。しかし、学術面でのインドネシア華人研究は、周南京ら中国帰僑による華人排斥運動研究や、国際的な華人研究組織・世界海外華人研究学会（International Society for the Study of Chinese Overseas: ISSCO）では、インドネシア出身のレオ・スリャディナタらの政治研究はあったものの、肝心のインドネシア国内での取り組みは見当たらなかった。

2013年11月、スマランで国際インドネシア華人学会（International Conference on Chinese Indonesian Studies: ICCIS）が開催された。2015年2月、第二回大会がバンドンのマラナタ・キリスト教大学で開催され、私も在外シンガポールから70名余の参加者の一人として加わった。この大会は開催校の他、プトラ・キリスト教大学、スジジャプラナタ・カソリック大学らインドネシアのミッションスクールと、中国の僑郷福建省から廈門大学南洋研究院が共催に名を連ねていた。「インドネシア国民国家の中の華人ディアスポラの伝統」をテーマにインドネシア語、中国語、英語のセッションが並行し、1966年に解散した国籍協商会（パペルギ）会長で親スカルノだったショウ・ギョクチャンや華語教育、華人寺廟と宗教研究など、インドネシアでインドネシア人を中心に華人研究の議論が進められていくことが何より新鮮だった。会後のフィールドトリップはチレボンで行われ、17世紀以前の寺廟や墓地の所々で、華人排斥真っ只中80年代の改修の痕が見られたのも意外だった。2016年3月、ジャカルタのタルマナガラ大学で開催される第三回大会には、インドネシア大学と立教大学アジア地域研究所も共催校として加わり、6セッション（印3、英2、中1）、発表数49で発表者含め参加者はのべ200名程度という盛況のうちに終了した。来年はいよいよキリスト教系以外、インドネシア大学の主催で、隣国マレーシアのマラヤ大学も共催に加わり開催予定だ。

いずれ日本にも当番が回ってきそうな勢いだが、近年の日本語書籍に限っても、相沢伸広『華人と国家』（2010）、津田浩司『華人性の民族誌』（2011）、北村由美『インドネシア 創られゆく華人文化』（2014）などのインドネシア華人研究が見られるようになった。ICCISはまだまだかたちの整わない、運営に未熟なところの多い研究組織だが、本学は

華人送出国、移民当事国以外の第三国で最初の共催校として客観的に、海域学としてのインドネシア華人研究を見届けていけるのではないかと期待している。

海域学の中の華人文学—シンガポール国家文学の形成

十八世紀ヨーロッパで開花した小説と新聞という様式は、均質な「国民」イメージを共有する主要な手段である。シンガポールにおいても国家意識形成に欠かせないものとして、独立以来「シンガポール・ストーリー」が紡がれている。

多民族社会では、公用語と同じく四言語の文学がある。日本のように一億超の人口、一言語で、プロ作家を養える国とは文学のあり方が大きく違う。本項では華語文学以外、それぞれの文学の先駆者と目される作家を中心に紹介する。

英語文学、特に英語詩は幸節みゆき氏の訳業によって知られているが、四十年代、マラヤ大（後のシンガポール国立大）の学生による伝統英詩の模倣から始まる。五十年代以降、日本軍政後に復帰したイギリスからの脱植民地、マラヤ・ナショナリズムの高揚の中で「マラヤの詩」が模索される。

六十年代以降はエジプト、日本、タイの後、シンガポールで教鞭を取ったイギリスの詩人D. J. エンライトの薫陶を受けた作家達を中心だ。エドウィン・タンブー（1933～）は、私的な叙情詩から詩作を始めるが、七十年代以降、文学と政治へ振れて行く。シンガポールにおける「社会参加」は、彼の作品を与党PAP礼賛のプロパガンダへ導く。しかし『長過ぎた夢』が最初の「シンガポール小説」と評されたゴー・ポーセン（1936～2010）や名門セントジョセフ校（SJI）で青年詩社を始めたゴー・シンタブ（1927～2004）ら、呪縛から逃れられなかった作家は少なくない。ここでは例外としてアーサー・ヤップ（1943～）とリー・スーペン（1946～）を挙げる。ヤップは「シンガポール万歳タイプの詩」を嫌い、日常からシンガポールの真実に切り込む。女性詩人スーペンも「私」を歌う詩人である。代表作「私の国 同胞」でさえ、「私は温厚な褐色の肌の隣人と共に／中国の大いなる影のもとで成長した／だが私は英語で日記を綴る」という個人的な詩だった。

八十年代は小説の時代だ。キャサリン・リム（1942～）は内外で知られた女性作家だが、兼業作家の常で、短編小説から徐々に中編、長編へ歩を進め、『少女奴隷』（1998）は欧米でも読まれた。インド系のゴーパル・バラタム（1935～2002）は多民族を登場人物に、人間の普遍的な問題を描き、『ロウソクか太陽か』『月が出て日が沈む』など、地元出版社の自主検閲のため、イギリス出版の作品もある。

劇作家としては、ロバート・ヨオ（1940～）が『聞こえるかい、シンガポール』（1974）でクイーンズイングリッシュでなく、土着のシングリッシュを台詞に取り入れたのは画期だった。華語劇作家として出発したグオ・パオクン（1939～2002）は英語を中心に多言語劇を試み、九十年代以降、日本を含む海外でも評価された。劇団黒テントの佐藤信らによって戯曲集『花降る日へ』（2000）が翻訳されている。

マレー文学にとって、シンガポールは近代文学の先駆『アブドゥッラー物語』のルーツあり、現代文学結社「五十年世代」（ASAS50）の活動場所でもあった。大都市シンガポールはマレーシア独立まで作家・出版活動の一大拠点だった。

マレー文学の揺籃は、ペラ州タンジュン・マリムのスルタン・イドリス師範学校（SITC）にある。植民地唯一のマレー研究教育機関であり、汎マレー主義の牙城だ。マフムド・アマッド（1906～1976）はスマトラ島リアウ生まれだが、二十年代にSITCで学んだ。同じく戦前SITCに学んだ作家にシンガポール生まれのハルム・アミヌラシド（1907～1986）がいる。日本軍政期をブルネイで過ごし、戦直後に対日協力を問われイギリス軍に拘留された。マスリ・S. N（1927～2005）はシンガポール生まれで戦直後にSITCで学び、五十年世代の創設に参加している。同じく五十年世代のムハマド・アリフ・アマッド（1924～）も戦後SITCで学んだ作家の一人だ。スラディ・パルジョ（1926～1996）はシンガポール生まれで戦後SITCに学び、五十年世代で編集、秘書等を務めた。スラットマン・マルカサン（1930～）も戦直後にSITCで学び、五十年世代の一員となり、シンガポール作家として初めてマレーシア国立言語図書研究所（DBP）に招かれ、インドネシア、ブルネ

イなど、広くマレー世界で活躍した。彼ら第一世代作家はシンガポール・マレー語評議会（MBMS）マレー文学賞（旧トゥンスリラナン賞）や、タイで毎年行われ、アセアン各国から一名ずつ選出される東南アジア文学賞を受賞していることが多い。はるか後方に、アルフィアン・サアト（1977～）らが居り、彼はマレーと華人の混血だが、ムスリムでは珍しい英語作家だ。これまでマレー系に少なかった英語執筆が、今後増えて来るのではなからうか。

タミル語文学の先駆者たちは、シンガポール生まれは少なく、南インド、タミルナドゥ出身者が多い。タミル作家協会の文学賞に名を残すタミザヴェルが1935年に創刊したタミル語新聞『タミル・ムラス』が作品発表の中心だ。ナ・ゴビンダサミ（1946～1999）は数少ないシンガポール生まれで、六十年代から活動をはじめ、東南アジア文学賞や『タミル・ムラス』短編小説賞を受賞し、創作ばかりでなくタミル語文学研究にも尽力した。タミルナドゥ出身者で三十年代に移民して来たのがN. パラニヴェル（1908～2000）だ。彼は友人のタミザヴェルと共に、『タミル・ムラス』を創刊した。二十年代生まれのカ・ペルマル（1921～1979）とシンガイ・ムキラン（1922～1992）もタミルナドゥ出身で三十年代に英領マラヤに移民し、ペルマルはキャメロンハイランドのBOHティーで働いた後シンガポールへ。1965年にシンガポール独立を祝う詩集『シンガポールの歌』を出版した。シンガイはマレー半島の古都マラッカに移民後、詩人として頭角を現し、十代で詩集を出版した。社会運動にも参画し、日本軍政期にインド国民軍に従軍、戦直後に『インド国民軍歌』を発表し、十五年の停筆の後、短編、詩を『タミル・ムラス』に発表した。五十年代にタミルナドゥから移民してきたのがセ・ヴェ・シャンムガム（1933～2001）だ。すぐに『タミル・ムラス』に短編小説を投稿し評価された。プトゥマイタサン（1932～）はマレー半島ジョホール生まれで、五十年代に『タミル・ムラス』に短編小説を発表した。1953年のタミル作家協会創設メンバーの一人で、シンガポール放送局で多くのラジオドラマを手がけた。タミザヴェル文学賞を二度の他、東南アジア文学賞も受賞している。

こうして各言語の作家を一覧すると、英語作家が比較的政府に取り込まれているケースが多いことがわかる。他の民族語作家は外文化圏とのつながりやお目こぼしで自由を謳歌しているのかもしれない。しかしノーベル文学賞のタゴールからナイポールまでのコモンウェルス文学（旧英領の英語圏文学）を見ると、シンガポール英語文学にも可能性を感じることができる。

海域学の中の華人文学—シンガポールの中国語文学

使用される地域が集中、特定される「日本語」という文学言語と違い、シンガポールの英語文学がコモンウェルス文学の一環と考えられるように、シンガポールの華語（東南アジアでは標準中国語のことを華語という）文学は世界華語文学という視点で、国際的な中国語作家、高行健や莫言らの世界文学と連なっている。加えて、人口の七割を占める華人にとって、中国語は英語のような「第二言語」でなく、民族語として中華文化アイデンティティを担保している。本来のルーツ言語である福建語などの中国語方言が、二言語政策によって駆逐されたとしても、文字言語としての中国語は「漢字」を拠り所に音声と関係なく共通性を持つ。中華文化圏の中で、今や暴力的な求心力を持つ中国大陸にとっても、シンガポールは知識人や富裕層の主要な目的地の一つであり、こうした新移民の波に埋没せず、文化的な独立を保つため、「シンガポール・ストーリー」を紡ぐことは他の公用語文学同様、欠かせない。教育省と華語文学主要三団体（文芸協会、作家協会、錫山文芸中心）編の『シンガポール華文作家伝略』には540名の名前が挙げられているが、物故作家百名を除き、団体に所属しない作家を加えると、およそ五百名が現役華語文学者と言えよう。

旧英領マラヤの鉦山、港湾都市に労働力として殺到した十九世紀以来の「華僑」による二十世紀の文学営為「馬華文学」は、華語文学研究の父、方修（1922～2010）によって六十年代から七十年代にかけ、文学史や文学全集として構築された。日本でも七十年代以降、中国左翼文芸の一環として馬華文学が注目されたが、そのほとんどは方修文学史の紹介か翻訳だった。しかし、最初期に修訂以前の『馬華新文学史稿』で取り上げられた作家は方修と同じ潮州系を多く含み、当時から李星可らに正統性を指弾されていた。テキストが手書き筆写で収集された一種の写本であることと併せ、圧倒的な功績を減ずるものではないが、文学観や文献学上の限界を踏まえる必要があるだろう。

方修文学史に見られる広義の馬華文学は、二十世紀初頭からアジア太平洋戦争、シンガポール独立までの作品がシンガポール、マレーシアの近代文学共通の古典と認識されている。シンガポール独立以降は狭義の馬華文学（マレーシア華語文学）と異なる新華文学（シンガポール華語文学）として文字通り独立した。数少ない日本語翻訳『シンガポール華文小説選』や『残夜行』にも見られる通り、独立後の主題の一つに「三年八箇月」がある。これは1942年から45年の日本軍政期を差すことばで、こうした苦難の時代を共有したのが、われわれシンガポール人であるという価値観が華語文学に結晶している。シンガポールの魯迅と称される苗秀（1920～1980）は、「昭南」駅で検問中の日本人の様子を「五尺にも充たないチビ瓜が、両手を腰にあてがったまま、ぶらぶらとアヒルのように歩き回り、ガアガア怒鳴っていた。もう一人は、逆にほとんど口を開かず、濃い眉毛の奥にはめ込まれたトビ色の小さな目で、悪辣そうに様子を窺っていた」（残夜行）と記す。

一方、マレー半島北部イポー生まれで、幼くしてシンガポールに移住し教育を受け、華字紙記者の傍ら短編小説を発表する張曦娜（1956～）は代表作『変調』で、独立直後のシンガポールで、経済的なお手本だった日本からの旅行者にかしづく同胞を風刺的に描く。こうした、いつの世にも相手変われど、長いものに巻かれろ式の人々を描写しつつ、中華文化への回帰を訴えるのも主題の一つと言えよう。

南洋の中国語新文学は、中国大陸の五四運動の影響を受けたリアリズム文学が主流だったが、五十年代から台湾経由でモダニズム文学が流入し、社会主義的リアリズムへの対抗という反共の面もあり、両者の論争が独立前後から盛んに行われた。陳瑞猷（1943～）らとともにモダニズム派の代表格が英培安（1947～）だ。舌鋒鋭いエッセイで知られ、草根書屋で出版活動も行っている。長編小説『騒動』は五六十年代の政治運動を描いた問題作で、台湾で出版されたが国内でも高く評価された。

彼らの後を継いだのは独立前後生まれの作家達だが、梁文福（1964～）はアンディ・ラ

ウらに楽曲提供するソングライターとしても知られ、学生時代に出版した散文集は版を重ね、隣国マレーシアでも同世代の読者を獲得した。『最後のチャイナタウン』の中で梁は香港新界から中国を望み「もちろん故郷を思っているのではない。南洋育ちで、中国のものを何一つ直接見たこともなく、どこから郷愁が湧くものか」と独りごちる。同世代の呉耀宗（1965～）は韋銅雀の筆名で知られたモダニズム詩人で、梁とともに作家協会機関誌『新華文学』の別冊『后来』を手がけた。シンガポール国立大学中国研究学部で、王潤華らの研究と創作を引き継ぐはずだった繊細な詩人は、故郷シンガポールを離れ、モダニズム文学揺籃の地の一つ香港に移住する。中国語文学を突き詰めた末の苦渋の決断は、奇しくも隣国マレーシア華人による台湾熱帯文学のあり方と重なる。

英領時代以来の英語に加え、中国語が九十年代以降の中国大陆の経済成長を追い風にしているのは間違いないが、中国文壇とシンガポール華語文学の関係として、僑郷アモイでの『東南アジア華文文学大系 シンガポール編』（鷺江出版社）出版、文芸誌『上海文学』での定期的なシンガポール文学紹介、女性作家尤今（1950～）の作品が中国で広く読まれたことなどがある。そして国内では、中国からの新移民が出稼ぎや留学はもちろん、シンガポール唯一の新聞文芸欄「文芸城」（聯合早報）の編集に関わったり、出版社の経営や教育機関で職を得ているケースも散見される。

新移民は中国からだけではない。丁雲（1952～）はマレーシアの民族摩擦事件（国内治安法発動）の翌年、シンガポールに移住してラジオドラマの制作に携わり、2000年以降は執筆に専念している。故郷マレーシアと異郷シンガポールを主題に据える他、労働運動やマラヤ共産党などの現代史や、自らのキリスト教信仰についての作品を発表するなど、旺盛な執筆活動を行うシンガポール作家として評価したい。

華語に限らず、シンガポール文学の古典を手にするのは非常に難しい。そうした中、ブラバサショッピングセンターで営業を続け、数十年前の新古本を在庫として持ち続ける青年書局は、今は亡き中国語による高等教育機関、南洋大学とともに五十年代に出発し、李汝琳（1914～1991）による「南方文叢」など、華語文学に特化した出版社だが、近年、六、七十年代の華語文学書の簡体字版を重版するなど、古典を現代の読者に届ける意味で興味深い活動を行っている。

なぜ中国語文学なのか。超大国中国と共通の古典文学、隣国マレーシアと共通の近代文学を持ちながら、独立以降半世紀に渡る自らの歩みを綴る営為の一つが、華語文学であることだけは間違いないだろう。